

最上村山森林計画に関する住民懇談会の開催

山形森林管理署 最上支署

平成25年12月2日山形県天童市において、地域住民、山形県や関係自治体など多くの参加のもと、最上村山国有林の森林計画に関する住民懇談会を開催しました。

住民懇談会とは、流域の住民に対し国有林の森林計画等に関する理解の促進と地域住民からの意見などを国有林の森林計画へ反映させるため、森林計画等に関する施策の説明や意見交換の場を設ける

こととしており、平成27年4月1日から第5次森林計画がはじまる最上村山流域管内を対象とした公募による地域住民、森林計画検討委員、国有林モニター、県及び市町村関係者の出席で実施したところです。

山形森林管理署長からの開催挨拶後、最上村山森林計画等の説明をし意見交換を行いました。出席者からは「国産材利用が叫ばれている中、一般の方にはなかなか浸透していない」「子供たちに対する森林環境教育をもっと頑張ってもらいたい」「民国連携共同施業団地の内容を具体的に教えてほしい」「山形県は今年度豪雨災害が頻発したが当管内はどんな状況か？」「森林林業再生プランの目標達成に向かうビジョンは？」「環境を守るための行動をしているが内容を充実させるための指導をお願いします」「国有林はアプローチが足りない感じがする」など多くの質問や意見

が出されたことから予定時間をオーバーするなど、真剣な意見交換で充実した内容となりました。

今後、住民懇談会の具体的内容を公開するとともに、次期樹立予定の森林計画に意見反映させることとなります。

今回の住民懇談会を契機とし、更に「開かれた国有林」を实践すべく対応して参りますので地域住民の皆様のご理解ご協力をお願いします。



山形署長あいさつ



住民懇談会の様子